

講義名	教養特講（人間社会学科へのいざない）		
科目区分	教養特講		
担当教員	栗田 真樹 / 碓井 将夫 / 銅直 優子 / 森藤 ちひろ / 森脇 丈子		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	13023

主題と概要

人間社会学科は、人、もの、お金などに関わるさまざまな問題を解決するために、人間社会を多角的にとらえる視点を学ぶところである。そのためには、現代社会の構造や、人々の心の動きや仕組みがどの様になっているのかについて理解を深め、人々の暮らしを豊かにする方法を模索することが重要である。これらを専門的に学ぶために必要な、人間と社会を理解する基礎的な知識を学ぶことが、この授業のねらいである。この授業では、社会を理解するために、地域、まちづくり、コミュニケーション、いじめ問題、ライフコース、キャリア、家族、仕事などについて解説する。また、人間を理解するために、パーソナリティの構造、対人関係、対人魅力、群集行動、消費者行動などに関する知識と理論を社会学・心理学・その他関連領域の観点から解説する。

到達目標

社会学や心理学がどのような学問であるかが理解できる。
現代社会の問題を社会学・心理学・その他関連領域の観点から理解することができる。

提出課題

複数の教員によって担当される科目であるため、担当教員によって提出課題の方法が異なる。各担当教員の説明をしっかりと聞き、指示に従うこと。

評価の基準

担当教員ごとに試験が行われ評価点を与える。その評価点の合計が最終評価得点となる。試験の方法や評価の方法に関する詳細は、授業内に各教員から説明が行われる。

履修にあたっての注意・助言他

毎回出席すること。しっかりとノートを作成し、資料が配付された場合は、その都度、整理し保管すること。また毎回の授業に持ってくることを忘れないようにする。特に本科目は担当教員が5名いるため、担当教員ごとにノートや資料をしっかりと整理すること。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて資料を配付する

授業計画

1. 大学での学びと人間社会学科での学修内容、人間社会と社会学
2. 人間社会と社会学
3. 人間社会と社会学
4. 人間社会と社会学
5. 人間社会と企業
6. 人間社会と企業
7. 人間社会とマーケティング
8. 人間社会とマーケティング
9. 人間社会と経済学
10. 人間社会と経済学
11. 人間社会と心理学
12. 人間社会と心理学
13. 人間社会と心理学
14. 人間社会と心理学
15. 人間社会学科の学びのまとめ

予習・復習

本科目は複数の教員が担当するため毎回トピックが異なる。そのため授業の行われた週に復習をしっかりと行い、知識として習得することが望ましい。復習の際は、ノートや配付された資料への書き込みを基に、十分に理解できたか確認すること。理解が不十分なところについては、関連書籍で調べたり、担当教員に積極的に質問すること。また、興味を持ったトピックに関しては、書籍で調べるなどしてさらに知識を深めること。

備考

本科目は複数の教員が担当するため毎回トピックが異なる。そのため授業の行われた週に復習をしっかりと行い、知識として習得することが望ましい。復習の際は、ノートや配付された資料への書き込みを基に、十分に理解できたか確認すること。理解が不十分なところについては、関連書籍で調べたり、担当教員に積極的に質問すること。また、興味を持ったトピックに関しては、書籍で調べるなどしてさらに知識を深めること。